千剣連だより

発行：(一財) 千葉県剣道連盟【広報委員会】　〒263-0024 千葉市稲毛区穴川 2-3-20　TEL 043-285-4331　FAX 043-285-4333

関東七県7連覇ならず 決勝戦惜敗 準優勝

第58回 関東七県対抗剣道大会

監督　弓能家雅宣（長生）
選手　先鋒　図末　杏菜（千葉市）
　　次鋒　大浦　彰子（千葉市）
　　六将　石井可那子（松戸市）
　　五将　岩切　勇磨（夷隅）
　　四将　小谷　明徳（館山）
　　三将　岩下　智久（千葉市）
　　副将　鈴木　剛（館山）
　　大将　林　佐登美（柏市）

去る7月22日、前橋市ALSOKぐんま武道館で第58回関東七県対抗剣道大会が行われました。

千葉県チームは昨年まで大会6連覇中。本年度は7連覇がかかった状況で大会に臨みました。

予選リーグは第1組で、千葉県・群馬県A・神奈川県・埼玉県という大変厳しい組み合わせでした。

第1試合は群馬県Aと対戦。緒戦の硬さはありましたが、3対0で勝利。第2試合は強敵神奈川県との対戦でしたが、石井選手と岩下選手の活躍により、2対0と辛くも勝利しました。

第3試合は、全国トップレベルの選手を揃えた埼玉県。両県は予選をリーグで2勝ずつあげ、この一戦に勝利したチームが決勝進出という対戦になりました。

三将まで3対2とリードされ、苦しい試合展開となりましたが、副将戦で鈴木選手が、試合巧者の埼玉県・井口選手から見事な小手を奪い大将戦につなげ、大将戦では埼玉県・大澤選手に林選手が豪快な面を決め、見事、決勝進出を果たしました。

決勝戦は来年地元国体を控える茨城県との対戦。茨城県の各選手は気迫溢れる戦いぶりで、随所に強化の成果を見せる技で千葉県に襲いかかり、大将戦の末、3対2で惜敗しました。

残念ながら7連覇は逃しましたが、7連覇への重圧と、各県が打倒千葉県で挑んでくる状況の中、全選手は果敢に戦いました。特に女子の図末選手と男子の岩切選手は無敗で、今後の活躍が大いに期待できます。

今後は本大会の結果を踏まえ、国体関東ブロック予選、そして本国体に備えていただければと思います。最後になりますが、川畑会長をはじめ、関係各位の選手強化事業へのなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、大会報告とさせていただきます。

監督　弓能家雅宣　記

予選リーグ

2組	千葉県	群馬県A	神奈川県	埼玉県	順位
千葉県		○ 3/3	○ 4/2	○ 4/4	1
群馬県A	△ 0/0		△ 0/0	△ 0/0	4
神奈川県	△ 1/0	○ 7/4		△ 4/2	3
埼玉県	△ 4/3	○ 8/5	○ 6/4		2

決勝戦

千葉県 △ 3/2 茨城県
茨城県 ○ 6/3 茨城県

各種大会・講習会等報告

第 53 回 千葉県剣道演武大会フォトギャラリー

東日本中央講習会伝達講習会
4月7日（土）・県武道館

講　師　関川　忠誠
　　重松　公明
　　近藤　正利
受講者　70名

第10回全日本都道府県対抗女子剣道大会千葉県予選
4月21日（土）・県武道館

結　果　次鋒　河野　里穂（清和大学）
　　中堅　鈴木　汐莉（君・木）
　　副将　大浦　彰子（千葉市）
　　大将　田丸麻弥子（千葉市）
参加者　17名　※先鋒は高体連推薦者

第53回 千葉県剣道演武大会
4月22日（日）・県武道館

参加者　剣　道　314名
　　居合道　24名
　　立身流　1名
　　杖　道　18名

第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
4月29日（日）・大阪府

監　督　石井　松雄（安房）
選　手　先鋒　樋浦　雄也（東海大浦安高）
　　次鋒　本間　渉（中央大）
　　五将　山内三士郎（柏市）
　　中堅　佐藤　大悟（千葉市）
　　三将　小谷　明徳（館山）
　　副将　黒木　幹大（山武）
　　大将　染谷　恒治（柏市）
結　果　1回戦敗退

第114回全日本剣道演武大会
5月2日（火）～5日（金）・京都市

参加者　剣　道　98名
　　居合道　24名
　　杖　道　2名

県民体育大会二部（国体選考会）
5月26日（土）・県武道館

結　果　成年男子
　　先鋒　岩切　勇磨（夷隅）
　　次鋒　小谷　明徳（館山）
　　中堅　岩下　智久（千葉市）
　　副将　鈴木　剛（館山）
　　大将　林　佐登美（柏市）
　　成年女子
　　先鋒　図末　杏菜（千葉市）
　　中堅　大浦　彰子（千葉市）
　　大将　石井可那子（松戸市）
参加者　123名

全剣連第27回杖道中央講習会
6月2日（土）・3日（日）・勝浦市

受講者　2名

全剣連居合道地区講習会
6月9日（土）・10日（日）・山形県

受講者　14名

第46回千葉県女子剣道選手権大会

7月7日（土）・県武道館

結果
優勝　図末　杏菜（千葉市）
準優勝　越田　百香（柏市）
第三位　文違　智子（市川市）
久保田朱理（柏市）

参加者　58名

全剣連派遣講師講習会

7月8日（日）・県武道館

講師　篠塚　増穂
受講者　97名

第10回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

7月14日（土）・日本武道館

監督　石井　松雄（安房）
選手　先鋒　北田　奈子（学館浦安）
次鋒　河野　里穂（清和大学）
中堅　鈴木　汐莉（君・木）
副将　大浦　彰子（千葉）
大将　田丸麻弥子（千葉）
結果　2回戦敗退

審査会報告【合格者名簿】

剣道六段（京都4月29日）

鴇田　義喜　35（市川市）
中野光善　44（浦安市）
西ノ園達大　47（流山市）

剣道七段（京都4月30日）

永原聡子　46（船橋市）
木村　孝　46（長生）
江村基之　59（市原市）
平賀　努　54（松戸市）
軽米拓麿　35（君・木）

居合道錬士（京都5月3日）

橋本正志　67

杖道錬士（京都5月3日）

笠原将司　39
中尾榮子　78

剣道錬士（京都5月6日）

酒井　崇　44（千葉市）
東島日出夫　60（千葉市）
直井弘洋　46（船橋市）
岡光裕美　54（船橋市）
柳舘清康　73（船橋市）
新井裕太　37（松戸市）
石井孝光　71（松戸市）
髙橋直毅　33（山武）
嘉瀬和志　47（山武）
長谷川聡　55（夷隅）
伊藤　智　50（君・木）
近藤祐介　44（市原市）
田村　哲　52（柏市）
土谷俊一　58（八千代市）
加賀美平馬　62（佐倉）
首藤智之　31（浦安市）
池田哲郎　58（千葉市）
野澤秀寿　64（千葉市）
湯浅秀樹　54（船橋市）
嶋田健二　65（船橋市）
小木　泰　49（市川市）
持丸修一　61（松戸市）
西岡賢治　45（成田）
在原　徹　39（山武）
吉永浩嗣　39（長生）
織本建作　42（君・木）
磯辺信幸　62（君・木）
佐瀬　勝　46（市原市）
金田邦彦　74（我孫子市）
三橋　博　56（佐倉）
石原俊麿　77（佐倉）
北澤将道　37（浦安市）

剣道教士（京都5月6日）

岩下智久　39（千葉市）
瀧川典明　68（千葉市）
西川　章　75（千葉市）
菅野英朗　55（松戸市）
田山雄平　46（市原市）
小宮昌樹　46（館山）
大神　洋　47（柏市）
山室勝敏　58（流山市）
飯田伸二　59（佐倉）
長澤敏夫　61（佐倉）
小川陽一郎　65（千葉市）
蔵之内光雄　71（千葉市）
伏見利昭　57（市川市）
竹之内浩　56（銚子）
小森典夫　73（市原市）
菅田雅人　56（館山）
伊藤　宏　72（柏市）
時友聡朗　56（佐倉）
菅原良爾　59（佐倉）

剣道七段（愛知5月12日）

佐瀬正明　64（千葉市）
藤田昌巳　55（市川市）
髙橋秀紀　45（君・木）
篠田雅浩　46（柏市）
福永都代子　59（柏市）
栗田伸也　49（我孫子市）
酒井明彦　63（船橋市）
伊豫田文弥　44（香取）
佐々木信次　46（長狭）
白嶺光二　59（柏市）
廣瀬芳正　67（柏市）

剣道六段（愛知5月13日）

松本誠司　49（千葉市）
村井勇二　62（千葉市）
及川広行　52（船橋市）
森田　昭　75（船橋市）
田中利夫　70（成田）
宮野克行　69（香取）
江澤秀和　39（夷隅）
島田陽平　38（館山）
堀井健治　49（流山市）
藤崎英樹　41（佐倉）
櫻井征基　52（佐倉）
内海八博　69（佐倉）
坂本一之　51（千葉市）
千葉章嗣　46（船橋市）
柳沢信吾　60（船橋市）
垂井恒治　41（松戸市）
藤田真紀子　43（香取）
関川紗衣子　30（夷隅）
嶌津貴之　30（君・木）
石森久教　37（柏市）
八尾英人　56（鎌ケ谷市）
頼金達臣　43（佐倉）
山本幹夫　52（佐倉）

平成30年度（下半期）月例稽古指定元立ち

▼10月・11月指定

上野　勝（市原市）
熊切　隆夫（長狭）
豊田　竜介（千葉市）
三橋　勝美（長生）
嵩原　信之（香取）
川名　由美（旭）
須合　康二（匝瑳）
君塚　隆（夷隅）
半谷　好弘（銚子）
秋葉知恵子（成田）
田丸　和弘（君・木）
大木　康祐（山武）
大橋　利之（館山）
三浦　俊哉（習志野市）

▼12月・1月指定

石井外三郎（千葉市）
関口　一眞（君・木）
竹田　徹（習志野市）
土井　靖（山武）
小林　尚夫（成田）
國藤　昌彦（八千代市）
野村　秋弘（長狭）
杉山　良治（長生）
伊藤　幸夫（匝瑳）
藤沼　文郎（市川市）
川邊　慎一（佐倉）
齊藤　親一（流山市）
尾川　浩仁（夷隅）
吉野　尚也（夷隅）

▼2月・3月指定

久間　正剛（夷隅）
鈴木　忠一（千葉市）
弓能家雅宣（長生）
秋葉　正孝（成田）
飯田　政雄（香取）
高橋　達夫（長狭）
白石　哲朗（千葉市）
田山　道徳（市原市）
川野　雅英（八千代市）
軽米　満世（君・木）
住母家具夫（匝瑳）
吉田　修（長狭）
中村　充（成田）
川名　徹也（安房）

クロスオーバー（地区剣連通信）

柏市剣道連盟

柏市剣道連盟 会長　濱田穂積

以前、柏市の剣道の愛好者は松戸市剣道連盟に所属していた。柏市の人口が十万人に達したのを契機に柏警察署を退官した黒澤清氏が発起人となり、流山町在住の篠田正六氏（後に範士八段）及び地元の有力者寺嶋儀一氏の協力を得て、柏市、流山町東部地区、沼南町の愛好者を糾合し、昭和四十年一月十七日、寺嶋儀一会長、黒澤清副会長、篠田正六師範、新井守太郎顧問の陣容で柏市剣道連盟として創立発足した。

昭和四十五年二月、流山町が市制施行を機に流山剣道連盟が創立し、それに伴い流山町東部地区が分離した。以来、柏市及び沼南町の一市一町となったが、柏市・沼南町の合併により現在は柏市一市の愛好者によって構成されている。

創立当時の会員数は一般会員五十余名、青少年会員八十余名で、市内千代田町所在の柏警察署剣道場で稽古を行っていた。その後警察署の市内呼塚移転に伴い、稽古場所を市内柏第三小学校体育館、さらに市内柏第一小学校体育館へと変更していった。

昭和五十年頃になると会員もかなり増加し、少年剣道の普及発展のため、複数の小学校体育館を使用することにし稽古場所の拡大を図っていった。また、稽古場所ごとに支部制を導入することとし、市内数ケ所の支部が設置された。支部の運営については各支部の独自性に任せられた。その結果、会員はさらに増え、一支部あたり小学生会員が六十～九十名となり、小学生会員の増加は中学生・高校生の剣道部活動の盛況へと繋がり、一時期学校剣道部を含めて会員数は二千名を超えることになった。

年号が平成へと変わるころから、少子化傾向と他スポーツへの移行による剣道離れによって、会員が減少してきた。現在の会員数は約千名と減ってしまってはいる。しかし、以前少年会員であった成人会員が全会員数の三分の一ほどおり、そのことにより各支部で少年への指導や成人同士の稽古が充実している。

現在、二十三団体の支部がありそれぞれで活動をしている。平素の連盟の全体活動としては、合同稽古会とシニア稽古会を行っている。合同稽古会は毎週日曜日、市内の沼南体育館剣道場で、またシニア稽古会は毎週水曜日、市内の中央体育館剣道場で行っている。いずれの稽古会も年齢を問わず参加可能であるが、シニア稽古会は名の通り熟年過ぎの会員が多い。また、他市の愛好者の参加も大歓迎であり、我孫子市や取手市などの愛好者も多数参加している。

柏市剣道連盟の年間活動計画

通年	
・各支部での稽古	
・合同稽古	毎週日曜日 沼南体育館剣道場
・シニア稽古	毎週水曜日 中央体育館剣道場
四月	理事会・懇親会、一級審査会
五月	審判講習会
六月	春季市民大会（個人戦） 中央体育館
七月	五市親善剣道大会（松戸市・野田市・流山市・我孫子市・柏市）
八月	初・二・三段審査会（我孫子市と合同） 懇親会
九月	審判講習会
十月	柏市武道祭り
十一月	秋季市民大会（団体戦） 沼南体育館
十二月	一級審査会　懇親会
二月	坂東太郎剣道大会 麗澤大学親善剣道大会
三月	初・二・三段審査会（我孫子市と合同）

柏市剣道連盟役員

名誉会長　鈴木良紀
会　長　濱田穂積
副会長　牧野義雄　永鳥正秀
顧　問　阿比留義顯　水野達雄　渡邊元昭
　　菅野　豪
参　与　大場辰男
理事長　中薗創一
副理事長　井上雅仁
理　事　辻　昭男　豊島弘之　高崎包治
　　林　武志　武田恒夫　飯村俊彦
　　保田哲郎　伊藤　宏　萩原智之
　　小池久雄　神田泰貴　吉田正守
　　阿久津英　藤井敬三　山根正幸
　　柿澤伸行　後藤光康　紅谷　渡
事務局　川島健司　中野太一郎
会　計　清水信夫　永井正男

編集後記

◎一面記事の通り、関東七県対抗剣道大会は今一歩で偉業の『七連覇』を逸すも僅差。激闘に惜しみない拍手を！　そして、捲土重来を期し盛大な声援を！

◎当号の編集に当たり、かって先輩から「編集者は『小引き出し』を多く持て」と言われたことを思いだしました。今後は、掲載原稿が少ない時の為に、会員が興味を持つよう適当なモノを準備しておければと思います。

広報委員会　青木薫弘・時村尚孝
原田辰明・完倉正師